

小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“奉仕しよう”

みんなの人生を豊かにするために”

RI会 長：シェカール・メータ 氏

(所属：インド、カルカッターマハナガルRC)

地区テーマ：“取り組もう 基盤強化と超我的奉仕”

地区ガバナ：貫 正義 氏(所属：福岡南RC)

クラブテーマ：“原点復帰！ 魅力ある楽しいクラブへ”
～会員増強とインパクトのある奉仕～

会長 杉 巖 / 幹事 佐竹 信也



表紙写真(春の花シリーズ/椿)

椿は、演歌のテーマになっている花です。「アンコ椿は恋の花」・「雪椿」がヒット曲です。丘みどりさんも「五島恋椿」を2020年1月にリリースしています。

【写真撮影：辰巳 和正 会員/令和4年4月5日/北九州市にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 委員長：城 健一郎

副委員長：竹中 休義

委員：久保田 彰、平野由太郎、藤澤 修司、安田堅太郎、伊藤 泰

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3511回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700のマーチ”
- ・青少年関係の卓話
第2700地区青少年奉仕委員長
岡本 勇治 氏

幹事報告

佐竹 幹事

・来週と再来週の例会は、祝日およびクラブの定款により休会といたします。次の例会は5/13となりますので、お間違えのないようお願いいたします。

・3/25と先週の例会で募金箱を回ささせていただいたところ、合わせて10万5千円の義援金をいただきました。ご協力に感謝いたします。なお、理事会では、皆さんからの募金とクラブからの拠出金を合わせて10万円を送る、と決定しましたが、募金が10万円を超えたので、集まった金額10万5千円をそのまま地区に送りました。

・小倉西RCの50周年記念式典に、杉会長がオンライン参加しました。当クラブより御祝をお届けしたことに對し、礼状が届きました。

第3510回 例会 記録

4月22日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・卓話
北九州市子ども家庭局子育て支援課
子ども食堂担当係長
上島 未知人 氏

会長の時間

杉 巖 会長

本日は、嬉しい事に先程紹介しました4名の新メンバーが入会されます。その内2名が純増会員です。皆様の良き仲間が増えました。宜しくお願いします。来週からゴールデンウィークに入りますが、コロナは終息したわけでは有りませんし、どちらかと言うと力を増している様子ですので、密な行動にならない様に注意して楽しんで下さい。又、ウクライナの問題もロシアによる攻撃が激化しています。海外旅行も弾の届かない範囲での行動をお願いします。そして連休明けの5/13の例会では、元気な姿でお会いしましょう！

出席報告

袖須 委員長

2021年7月1日：65名でスタート

	会員数	出席者数	マークアップ	出席率
当日の出席	70名	46名	—	76.67%
先週の出席	66名	42名	20名	93.10% 修正後

◆ゲスト 1名 (卓話者)

◆ビジター 0名

新会員紹介



瓜生 資識 氏

推薦者 村上 充生 会員
豊川 智彰 会員
職業 (有)ハーベスト瓜生
代表取締役
職業区分 694 不動産管理業
チューター 豊川 智彰 会員
所属委員会 親睦活動委員会



小倉南区で不動産の管理会社をしています。少しでも早く打ち解けられるように、積極的に活動に参加したいと思っています。よろしくお願いいたします。

小嶋 慶 氏

推薦者 杣 巖 会員
豊川 智彰 会員
職業 (株)セルブ
代表取締役
職業区分 701 日本料理店
チューター 豊川 智彰 会員
所属委員会 親睦活動委員会



飲食業と美容業をやっております。飲食業は和食料理店の「和楽」という店で、美容業はエステティックサロンで、昨年まではリーガロイヤルホテル内で営業しておりました。現在は魚町に移転しております。また、最近はまだづくりにも関わっております。41歳の若輩者ですが、先輩方にご指導いただき、ロータリー活動に精一杯邁進したいと思います。

安田 裕一 氏

推薦者 篠原 烈 会員
杣 巖 会員
職業 野村證券(株)
北九州支店長
職業区分 651 証券会社
チューター 二村 吉則 会員
所属委員会 親睦活動委員会



入社して 19 年で、初めての支店長です。若い頃は、支店長が毎週ロータリーへ出かけるのを羨ましく見ており、ロータリーで活動させていただくことは憧れでした。北橋市長より、ひまわり大使を拝命いたしました。北九州の良いところを知って、広めていきたいと思っています。

青木 輝英 氏

推薦者 渡辺 茂 会員
杣 巖 会員
職業 西部ガス(株)
執行役員北九州地区総括
職業区分 341 ガス業
チューター 二村 吉則 会員
所属委員会 親睦活動委員会



西部ガスに入って 35 年経ちますが、北九州の勤務は初めてです。良いところがたくさんあると伺っていますので、色々と経験し、皆さま方と一緒させていただきたいと思っています。弊社は、都市ガスを供給しています。最近はカーボンニュートラルという言葉が良く出てきますが、当社もしっかり対応していきたいと考えています。趣味は、ゴルフと読書です。北九州の名門のゴルフ場でプレーすることを楽しみにしています。

委員会報告

親睦活動委員会

豊川 委員

5 月 15 日(日)の春の日帰りバスツアーのご案内です。10 時にリーガロイヤルホテル集合です。若松のエネルギーをテーマに、すごく楽しい企画にしています。「花と龍」は玉井名誉会員のおじいさん・おばあさんのほぼ実録だそうです。ぜひお休みの間に「花と龍」の映画を観られて、ご参加ください。15 人以下だと開催できませんので、奮って参加の程お願いいたします。

ニコニコ献金

藤澤 副 SAA

7,000 円 : 累計金額 303,000 円

杣 巖 君

ある会合の懇親会で行われた「クジ」で、JTB の旅行券が当たりました。あまり良い事のない昨今ですので、おすそ分けのつもりでニコニコです。

村上 充生 君

瓜生さんの入会を歓迎して。瓜生さんが、まだパンパースの頃から知っています。でも、今度はもうすぐ私がパンパースです。

松本 篤 君

晴れ渡る 4 月 17 日の日曜日、特別協賛の西日本新聞社 甲木代表ともばったりお会いしてエールをいただき、平尾台トレイル 17 キロに参加しました。エンジンやモーター音のない静けさの中で大自然を満喫し、あらためて争いのない「平和」の尊さを体感しました！

米山記念奨学会からの表彰

宇城 米山記念奨学委員長

米山記念奨学会より、功労者の感謝状が贈られました。

◎原田 鉄司 会員 (第3回マルチプル)



米山功労者
個人の特別
寄付の累計
10万円毎に
感謝状が贈
られます。

卓 話

北九州市子ども家庭局子育て支援課

子ども食堂担当係長

上島 未知人 氏

『子ども食堂について』



まず、「子ども食堂」について、明確な定義はありませんが、あえて言えば「無料もしくは低額で食事が提供され、子どもや大人がコミュニケーションを図って楽しく過ごすことのできる居場所」です。北九州市でも、「孤食の防止」や「地域の子どもと大人が安心して

過ごすことのできる居場所」として実施しています。

特に知っていただきたいのは、子ども食堂は貧困対策ではなく、家庭の事情に関わらず誰でも利用できる「地域の居場所」として実施しているということです。正しい理解が広がれば誤った偏見も無くなり、支援が必要な方も安心して利用できます。

次に、市内の子ども食堂の現状ですが、4月1日現在、子ども食堂は市内に42ヶ所あり、そのうち40ヶ所が「子ども食堂ネットワーク北九州」に加盟しています。子ども食堂の開催頻度は週1回から月に1、2回のところが多く、参加人数は平均で子どもが20～30人、ボランティアが15人前後です。ボランティアの役割は、調理をはじめ、子どもたちの見守りや遊び相手、学習支援などを行っています。

また、開催場所は市民センターなどが多く、地域の有志のボランティアグループやNPO法人、企業など、北

九州市では民間の方が主体となって子ども食堂を運営しています。運営費用は、例えば月2回開催、1回あたり50食提供で、年間30～50万円程度です。運営費は、市の補助金や、市民や企業等の寄付金、参加費などおにも賄われており、食材も、購入する以外に、皆様のご寄付やフードバンク団体からの提供などで賄われています。民間主体の子ども食堂の活動が安定的に続くよう、運営費の補助や、企業等とのつなぎ役、子ども食堂の運営や立ち上げの相談対応など、市も側面的なサポートを行っています。

次に、子ども食堂が社会的に果たしている役割について説明いたします。まず、子ども食堂は「地域の居場所」としての役割を果たしており、子どもたちをはじめ、ボランティアの学生や大人、お年寄りなどさまざまな年代の方が参加する「多世代の交流拠点」となっています。また、子ども食堂を通じて顔見知りになることで、子ども食堂以外の場でも地域の交流が増えていきますし、お父さんやお母さんが少し息抜きをできる場所、お年寄りの生きがいがいつくりの場所など、様々な方の居場所になっています。

また、貧困対策等の側面も全く無いわけではなく、例えば開催頻度が月1～2回でも、鍋を囲んだ経験の無い子が、子ども食堂で初めて鍋を囲んだというように「経験の貧困」の解消につながったり、定期的に子ども食堂に通うことで、何か問題を抱えたときに運営スタッフに気軽に相談ができるようになるなど、支援が必要な方を支える役割も果たしています。

最後に、子ども食堂が長く続いていくためには、市民や企業・団体の皆様のご支援が必要です。ご支援の方法は、食材や運営費のご寄付だけでなく、ボランティアの派遣や食材等の保管場所の提供などさまざまあります。できることをできる範囲で結構ですし、また、SDGsなど企業や団体の皆様の活動にも貢献できる形で、私たちもいただいたご支援へのPR等に取り組みたいと考えています。ぜひ「オール北九州」で子ども食堂の活動を支援し、子どもたちや地域の皆様の居場所を拡げていければと思いますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・原田 光久

合計	2021～22 年度累計金額
3,000 円	661,000 円

次回例会予告

5月22日(日) 奉仕例会

・春の清掃登山例会(足立山麓)

5月27日(金) 普通例会

・ロータリーソング “四つのテスト”

・地区研修・協議会報告